一般国道6号

# 勿来（なこそ）バイパス事業

令和4年9月版

国土交通省

## ～勿来バイパス工事の進み具合をお知らせします～

## ■ 期待される主な効果

### ▶防災機能の強化

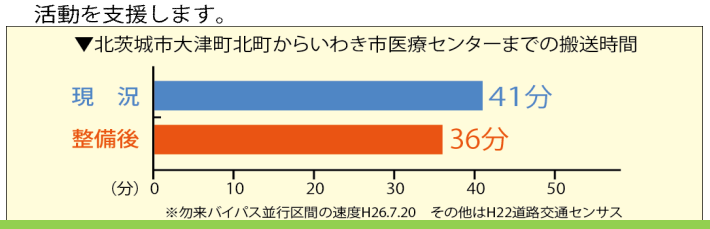
●津波浸水区間を回避し、災害時の避難・救援活動を支援するネットワークを確保します。

### ▶渋滞緩和・アクセス改善による観光地の再生

● 国道6号の交通量が分散し、渋滞が緩和されることで、魅力ある観光地の再生を支援します。

### ▶救急医療活動の支援

●医療施設への搬送時間が短縮するなど、地域住民の命を守る救急医療活動を支援します。




## ■ 工事の進捗状況

令和４年９月末現在

## ■ ９月の工事状況

### ①関田関山地区　地盤改良工

⇒道路の基礎となる地盤を補強しています。

### ②トンネル内部　掘削工

⇒トンネル坑口から283mの状況。現在はシルト岩（砂より細かい岩）、もろい粘土質の岩が続いています。

### ③トンネル内部　インバート工

⇒トンネルのインバート（底盤）のコンクリート打設を行っています。

### ④関田滝沢地区　盛土工

⇒盛土する土を受け入れるための準備をしています。

### ⑤四沢長塚地区　土留・仮締切工

⇒施工中の土砂崩壊を防ぐため、周囲に矢板（板状の杭）を打ち込んでいます。

### ⑥四沢渋町～柴橋地区　置換工

⇒軟弱地盤を改良するために土の置き換えを行っています。


（発行者）　国土交通省　東北地方整備局　磐城国道事務所
〒970-8026　福島県いわき市平字五色町8-1
TEL:0246-23-2211(代表)


令和４年９月発行

←磐城国道事務所のホームページはこのQRコードからアクセスできます。

一般国道6号

# 勿来（なこそ）バイパス（勿来トンネル工事）9月版

国土交通省

～ トンネル工事の進み具合をお知らせします ～

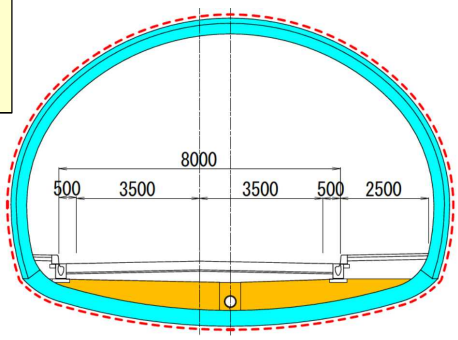
## ■ 位置図

## ■ 勿来トンネルについて

◆トンネル概要
延長：L＝７７９m
断面：約６８m2（掘削：約７８m2）
幅員：１０．５m（0.5+3.5+3.5+0.5+2.5）

▼主な土質
地形区分：丘陵地
岩石名：砂岩・シルト岩・シルト岩砂岩互層・れき岩
地質時代：新生代新第三紀中新世
区分：堆積岩
（参考：土の細かさ⇒れき＞砂＞シルト（泥））

標準断面図

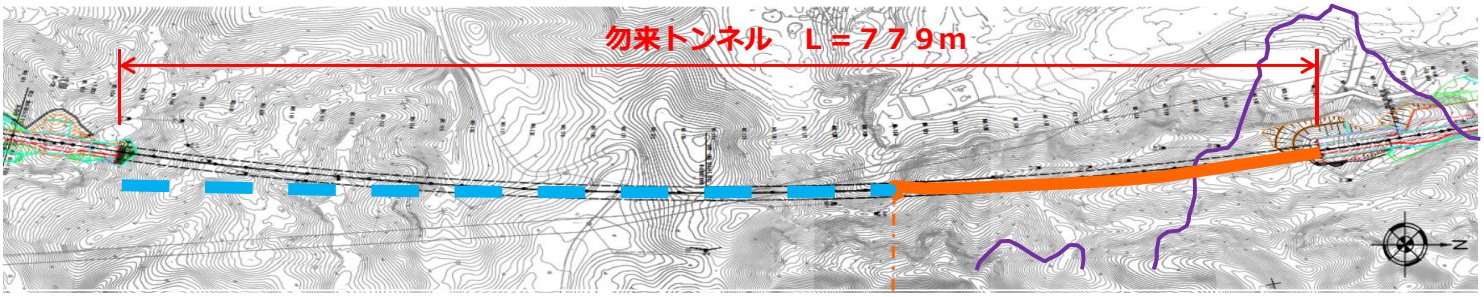



## ■ 工事の進み具合

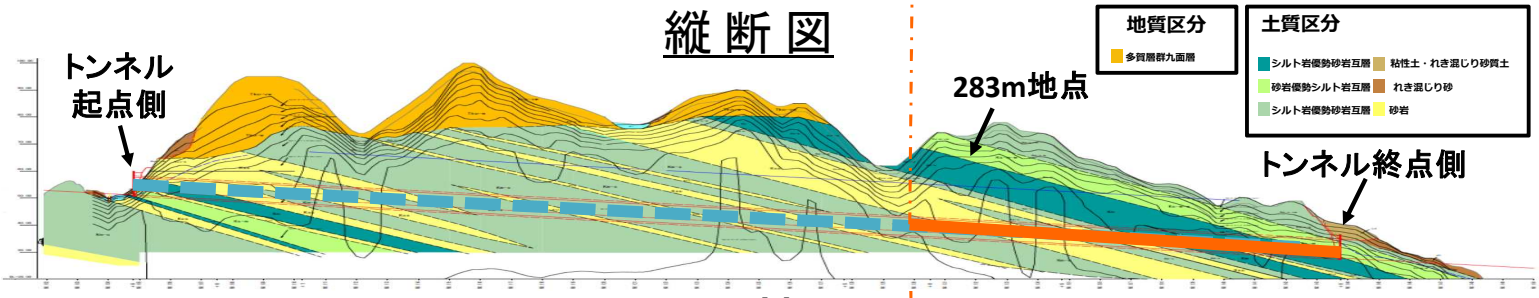
令和４年９月末現在

### 平面図

←至 水戸　　至 仙台→




### 縦断図




### 掘削状況

（令和４年9月23日時点）

←至 水戸　　至 仙台→

全長：７７９m

## ■９月のトンネル工事状況

### ←①掘削工

写真はトンネル入口から283m付近を掘削している状況です。現在の箇所では岩質はシルト岩であり掘削機の爪痕が残るほど非常に脆い粘土質です。

### ②インバート工→

写真は底盤（インバート）のコンリート打設を行っている様子です。地質の弱い箇所においてトンネル底面を逆アーチ型に掘りコンクリート壁で固めることで下側底からの圧力を和らげます。

### -作業台車による防水シート張り-

・トンネル内に水が染み出てこないよう壁面に裏面排水シート張りを行います。台車は設置したレール上を走行し、トンネル全体に防水シートを設置します。

（発行者）　国土交通省　東北地方整備局　磐城国道事務所
〒970-8026　福島県いわき市平字五色町8-1
TEL:0246-23-2211(代表)



令和４年９月発行


←磐城国道事務所ホームページはこちら